



1. 市民病院の目指す姿

基本理念「市民に奉仕する医療」

周南市西部地域の中核的病院として住民の健康と福祉の増進を図る

2. 増改築の基本方針 【2000年（平成12年）開設】

- ① 老朽化・狭あい化への対応
- ② 感染症への配慮
- ③ 職場環境の改善

3. 増改築により解消したい主な課題

- ① 診療スペースの拡充
救急処置室、化学療法室、中央処置室、診察室、内視鏡室など
- ② 感染症対策
発熱外来など診察室の整備、外来・健診等の動線整理
- ③ 医療スタッフの確保
職員・実習生の控室・更衣室等の確保、院内保育の設置など

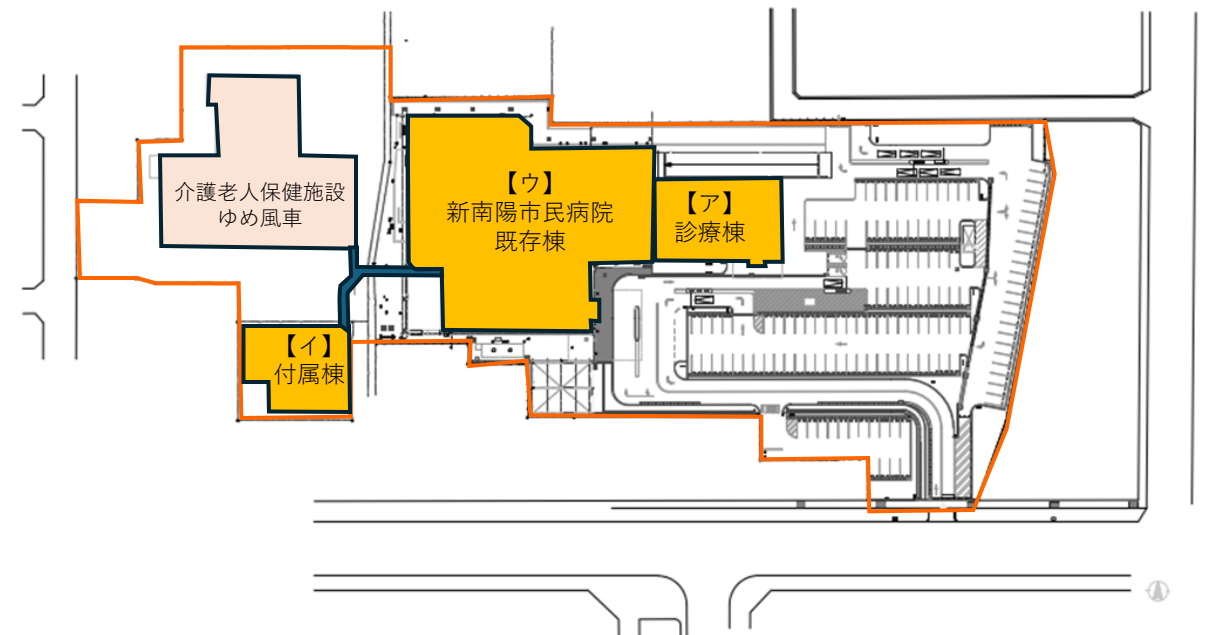
4. 増改築と並行して解消を図るべき課題

- ① 現行法令への対応（既存不適格の解消）
エレベーター7基、特定天井（1階エントランスホール吊り天井）
- ② 既存設備の改修
外壁改修、空調設備改修【実施中】

5. 増改築に合わせた機能強化・業務効率化

- ① 市民の健康課題の解決
糖尿病センター、健診センターの設置
- ② 近隣の病院等との連携強化、地域に密着のした診療体制の構築
地域連携室、訪問看護室、医事部門の近接配置
- ③ 食事提供業務の効率化
厨房の更新

6. 施設整備計画



敷地・用途・面積・構造・規模

【ア】 診療棟（増築）

敷地：既存棟東側

用途：外来

面積：680㎡程度

構造：構造種別・耐震性は設計段階で検討

規模：1階建て

【イ】 付属棟（増築）

敷地：既存棟西側（旧新南陽保健センター跡地）

用途：セントラルキッチン及び職員福利厚生

面積：980㎡程度。配置する機能によって設計段階で検討

構造：構造種別・耐震性は設計段階で検討

規模：2階建て（渡り廊下で病院・老健と接続）

【ウ】 既存棟（改修）

延床面積：約10,935㎡

改修面積：1,840㎡程度

構造：鉄骨鉄筋コンクリート

規模：地上6階 地下1階

7. 部門別計画

- (1) 救急診察室
 - ・感染症対応室を含む救急診療室の整備による救急診療体制の強化
- (2) 中央処置室及び化学療法室
 - ・安全かつプライバシーに配慮した処置室等の整備
- (3) 糖尿病センター
 - ・糖尿病の外来患者の治療・指導環境の整備
- (4) 診察室及び処置室
 - ・車椅子利用者と介助者の移動に配慮
 - ・診療科目の変更に対応できる診察室の整備
- (5) 健診センター
 - ・特定健康診断及び人間ドックの専用スペースの確保
- (6) 内視鏡室
 - ・安全で快適に内視鏡検査・治療を受けられる環境整備
- (7) 超音波検査室（エコー）
 - ・外来患者と健診受診者の動線を考慮した適切な配置
- (8) リハビリ室
 - ・言語療法室の確保などリハビリ環境の整備
- (9) 医事部門
 - ・会計待ち時間の改善や業務効率を考慮した適切な配置
- (10) 地域連携室
 - ・地域に密着した診療体制の構築、地域連携機能の強化
- (11) 訪問看護室
 - ・地域連携機能の強化、地域包括ケアの推進
- (12) 事務部門
 - ・会議室の確保、業務効率を考慮した適切な配置
- (13) 情報部門
 - ・情報管理機器の稼働環境の整備
- (14) 医局
 - ・更衣室の確保など労働環境の改善や人材確保対策
- (15) 看護管理部門
 - ・更衣室・休憩室の確保など労働環境の改善や人材確保対策
- (16) 栄養部門
 - ・食事提供業務の効率化・安全性や品質の向上、労働環境の改善
- (17) 院内保育
 - ・職員の労働環境の整備と人材確保対策

8. 整備計画

- ・病院の運営を継続しつつ、段階的に整備を進める必要があります。
- ・想定外の設計変更などにも迅速に対応する必要があります。
- ・今後の社会情勢や医療ニーズ、財政状況の変化や動向を踏まえ、部門別計画の大幅な見直しも視野に入れ、段階的に整備計画を立てていきます。

9. 事業費用及び収支計画

①概算事業費

項目	内容	概算費用 (千円)
設計・監理費等	基本設計、実施設計、設計監理、調査 等	324,000
建築工事費	本体工事、改修工事、解体工事、駐車場、外構 等 (うち エレベーター、特定天井、外壁改修)	2,654,900 (515,000)
医療機器・備品費	医療機器・厨房機器等	113,000
その他	機器・システム等移設・代替施設費等	60,000
計		3,151,900

②収支計画

増改築事業には多額の資金を長期間にわたり確保していく必要があります。経営状況や整備計画を踏まえ、適宜収支計画の策定・見直しをしていきます。

10. まとめ

- ・診療への影響を最小限に抑えるには、事業を一括して進めることが有効ですが、増改築事業には相当の期間と費用を要する見込みとなったことから、施設の老朽化の進行状況や経営状況を踏まえた実施が必要になります。
- ・経営改善の取り組みにより収益は増加しているものの、物価高騰などにより費用も大幅に増加しています。非常に厳しい経営状況にあるため、さらなる経営改善と並行して増改築事業に取り組みます。
- ・病院の診療を安定的かつ継続的に提供するため、老朽化対策は優先的に行いながら、狭あい化への対応等については、診療体制や改修費用、整備スケジュール等を精査しながら進めていきます。